

染井

えっと…ほ、本日はお日がらもよく…

一宮

先生、別に結婚式じゃないですから

染井

あ、そっか…じ、じゃああととは若い二人で…

田口

おい！どこ行こうとしてんだよ、先生からも言ってるよ、この堅物メ

ガネに！

一宮

誰が堅物メガネだ！

田口

お前だお前！なあ先生イ…このままじゃ俺の学園祭がこいつのせいでセピ

ア色に染まっちゃうよ！

一宮

僕だけじゃない、学園祭実行委員の全員合意だ。

染井

えっと、これなんの話だっけ？

田口

だから！俺の全米待望のワンマンロックライブ in 学園祭だよ！先生に

許可印もらったじゃん

一宮

まったく、とんでもないものに印押してくれましたね

染井

うーん、僕結構色んな団体からハンコ頼まれるからどれがどれたったか…

一宮

勘弁してくださいよ、先生がしようもない企画にホイホイ印押すせいでど

れだけこっちの仕事が増えたか

染井

ごめんねえ…

田口

おいおい、そんなジミー先生の羽毛より軽いハンコで出された企画案ども

と俺のワンマンライブ一緒にすんじゃないやねえよ！

染井

羽毛よりは重いんじゃないかなあ。あとジミーじゃなくて染井ね？

一宮

誰がシミイ先生のハンコと他の生徒たちの貴重な意見を一緒になんかする

か。お前の案は正当に判断して即却下だ。

染井

うん、シミイじゃなくて染井ね。染めるに井戸の井だから。ていうか何気

に一宮君のほう失礼だよ

田口

なんでだよお、俺の眠れる才能がやっと開花するんだぜ？

田口 これを一人でも多くの奴に目撃させてやりたいじゃねえかよ

一宮 眠らせておけ、永遠にな。

田口 そんな冷たいこと言うなよ、な？俺とお前の仲じゃんか

一宮 どんな仲だ。

田口 それは…ここではちよつと…

一宮 なんてだよ、幼なじみ以外の何物でもないだろ

染井 あ、幼なじみなんだ

一宮 ええ、この企画案みた瞬間激しくそれを否定したくなりましたけどね

田口 おいおい、心配すんじゃないよ。俺がどんなに有名になっても、俺達の絆は永遠だぜ？

一宮 安心しろ、僕が心配なのはどうしたらお前との腐れ縁を叩き切れるかだけだ。

田口 かわいくねえなあ、素直になれよ

染井 だめだよ田口くん、これはツンデレっていう立派な愛情表現なんだから

一宮 先生、黙りやがって頂けますか

染井 すみませんでした

田口 しょうがねえな、じゃあお前にはセンターの席取つといてやるよ。あーあー、ファンには平等に接するが俺のモットーなのになあ

一宮 誰が誰のファンだって？

田口 お前が、俺の☆

一宮 大いに違う。まったく違う。断じて違う。

田口 え…まさかお前、俺にファン以上の感情を…

染井 禁断の恋だね！じゃあ僕週刊誌の記者役やるよ！

一宮 先生、黙りやがって頂けますか

染井 すみませんでした

一宮

大体お前の歌なんか人様に聞かせられるか。なんでだよ！この声は神が与えた奇跡だぞ！

田口

えーと、もしかして田口くん音痴なの？

一宮

音痴どころじゃないですよ。幼稚園のおゆうぎ会ではこいつが歌った瞬間に園児が全員眠ったし

染井

子守唄！？

一宮

小学校の遠足で山登り中に歌ったら方位磁針が狂ったし磁力！？

一宮

中学生の時の合唱祭で歌ったらその一年女子のスカートが平均1.5cm長くなっただですよ！？

染井

それは！……なんで分かったの？

田口

とーにかーく！俺はやる！やるったらやる！

一宮

だめだったらだめだ。学祭開催理念は学園の成長と協調の発表だぞ、成長以前に存在の不可解なお前の歌を協調も何もないワンマンライブなんて出来るか。分かったら諦めろ。

田口

くっそーこうなったら実力行使だ、表出ろ！

一宮

この際やむをえんな、力づくで止めてやる！

染井

まあまあ、ハンコ押した僕が言うのもあれだけど、田口君もせっかくの学園祭にワンマンはさみしいじゃない。

田口

そりゃあ一人は大変だろうけど、でも皆に俺の歌を聴かせるっていう天から与えられた使命がさあ……

お前それ以上口を開かない方がいいぞ。笑いを通り越して戦慄を覚えるじゃあ、僕が顧問してる部活の一つに軽音があるんだ。そこでボーカル募集してるバンドがあったと思うから今回はそこで腕試しってことでどうかな？

田口 うおおお！ジミー先生！マジ神！

一宮 ちよつとシミイ先生、何勝手なこと言ってるんです！

染井 ほら、軽音の発表は学祭の開催理念には沿ってるから他の委員にも言い訳

が立つし、一宮くんは野外発表団体が管轄でしょ？ここからは管轄外だね。

一宮 な…そんな…

田口 やーいやーい、誰も俺の魂の歌を止めることはできないんだよーだ！俺が

歌おうがリンボーダンスしようがお前には関係ないの！

僕は別に…お前が笑いものになるのは見たくないと思ってる…

田口 え？なんだよ、大きい声で言えよ、しゃきつとしねえなあ

一宮 うるさい！もうお前なんか知るか、歌でも逆立ちでも好きにやれ！どうせ

僕は関係ないんだからな！

田口 なんだよ、そんなに逆ギレすることないだろ？

もういい、金輪際お前なんか知らん。好きにしろ。俺はもう行く。

おい、まって、待て一宮！言い忘れてた！

一宮 …なんだよ

田口 俺の初ライブのセンターはちゃんと取つといてやるから、委員会のシフト

調整しとけよ

一宮 田口…

俺は一回言ったことは守る男だ！

…ふん、誰が行くか、ばーか

くくく、うん、お前はそういう顔してた方がいい。しよぼくれた顔なんか

似合わねえよ

一宮 なっ、しよぼくれた顔なんかしてない！適当なこと言うな！

染井 あのさ、楽しそうなどこ悪いんだけど、僕からも一宮くんにお願いがあ

んだ

一宮

染井

田口

染井

一宮

田口

染井

一宮・田口

シミイ先生が僕に？なんですか？

今ので屋外発表希望団体枠減ったよね？その分僕が今度やるバンドを入れてほしいんだ。

ジミー先生がバンド！？なにやんの？フォークソングとか？あ、もしかしてシャンソン？

じつはね、最近事務員のおじさんたちとこっそり音楽室で練習してるんだ。

デスマタル！

……はい？

デスマタルって、あのデスマタル？

うん！最近は清掃のおじさんたちも加わってね。学園祭でみんなでシャウトするの、すごくかっこいいと思うんだ！ちよい悪だよ！ねえどうかな？

染井先生、却下でお願いします。